企　業　局

令和５年(2023年)２月２０日調製

定例会提出予定案件資料

ページ

１　令和４（２０２２）年度補正予算概要 ---------- １～11

２　令和５（２０２３）年度予算概要 ---------- 12～31

３　函館市公営企業の設置等に関する条例の一部を改正する
　条例の骨子 ---------- 32～34

1　令和４(2022)年度補正予算概要

【水 道 事 業 会 計】
(1) 補　正　事　項

事　　項		補 正 額	備　　考
収入	他会計負担金	△ 356千円	一般会計負担金（収益的収入）の減　△ 338千円 一般会計負担金（資本的収入）の減　△ 18千円
	引当金戻入益	934	退職給付引当金戻入益の皆増　934千円
	企業債	△ 16,500	原水及び浄水施設事業費企業債の減　△ 8,700千円 配水施設事業費企業債の減　△ 6,000千円 東部地区水道施設事業費企業債の減　△ 1,800千円
	工事補償金	2,809	工事補償金の増　2,809千円
	計	△ 13,113	
支出	給与費	△ 39,458	給与改定による増減分　△ 10,073千円 職員の変動およびその他の増減分　△ 29,385千円
	消費税及び地方消費税納付税額	19,326	消費税及び地方消費税納付税額の増　19,326千円
	雑支出	13	その他雑支出の増　13千円
	水道事業建設改良費	△ 18,410	原水及び浄水施設事業費の減　△ 13,087千円 配水施設事業費の減　△ 3,288千円 東部地区水道施設事業費の減　△ 2,035千円
	温泉事業建設改良費	1,738	温泉供給設備事業費の増　1,738千円
	計	△ 36,791	

(2) 収益的収入及び支出
収　　入

科　　目	既決額	補正額	計	備　　考
水道事業収益	4,850,067千円	596千円	4,850,663千円	
水道事業営業収益	4,461,852	△ 218	4,461,634	一般会計負担金を補正
温泉事業営業収益	94,552	△ 120	94,432	一般会計負担金を補正
営業外収益	238,922	934	239,856	引当金戻入益を計上

支　　出

科　　目	既決額	補正額	計	備　　考
	千円	千円	千円	
水道事業費用	4,708,115	△　15,646	4,692,469	
水道事業営業費用	4,316,619	△　33,775	4,282,844	給料，手当等，賞与引当金繰入額，法定福利費，法定福利費引当金繰入額および退職給付費を補正
温泉事業営業費用	72,164	△　1,210	70,954	給料，手当等，賞与引当金繰入額，法定福利費，法定福利費引当金繰入額および退職給付費を補正
営業外費用	286,732	19,339	306,071	納付税額およびその他雑支出を補正

当年度純損益　　11,044千円

(3)　資本的収入及び支出

収　　入

科　　目	既決額	補正額	計	備　　考
	千円	千円	千円	
資本的収入	1,425,371	△　13,709	1,411,662	
企業債	1,235,700	△　16,500	1,219,200	企業債を補正
他会計負担金	75,091	△　18	75,073	一般会計負担金を補正
工事補償金	114,580	2,809	117,389	工事補償金を補正

支　　出

科　　目	既決額	補正額	計	備　　考
	千円	千円	千円	
資本的支出	3,137,915	△　21,145	3,116,770	
建設改良費	1,942,114	△　21,145	1,920,969	水道事業建設改良費および温泉事業建設改良費を補正

資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額1,705,108千円は，当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額147,150千円，過年度分損益勘定留保資金776,767千円及び当年度分損益勘定留保資金781,191千円で補てんするものとする。

当年度財源過不足額　　△　4,379千円

累積財源過不足額　　3,203,053千円

(4) 継　　続　　費

補　　正　　前	補　　正　　後
事　業　名　赤川低区浄水場整備事業 総　　額　66,394千円 年　割　額　令和４年度　18,439千円 令和５年度　47,955千円	事　業　名　赤川低区浄水場整備事業 総　　額　62,500千円 年　割　額　令和４年度　18,008千円 令和５年度　44,492千円
事　業　名　赤川高区浄水場整備事業 総　　額　56,182千円 年　割　額　令和４年度　11,658千円 令和５年度　44,524千円	事　業　名　赤川高区浄水場整備事業 総　　額　51,935千円 年　割　額　令和４年度　11,025千円 令和５年度　40,910千円
事　業　名　旭岡浄水場整備事業 総　　額　77,336千円 年　割　額　令和４年度　19,185千円 令和５年度　58,151千円	事　業　名　旭岡浄水場整備事業 総　　額　72,560千円 年　割　額　令和４年度　18,822千円 令和５年度　53,738千円

(5) 企　　業　　債

補　　正　　前	補　　正　　後
限　度　額　1,235,700千円	限　度　額　1,219,200千円

(6) 業 務 の 予 定 量
主要な建設改良事業

補　　正　　前	補　　正　　後
水道事業　配　　水　　管　6,999メートル	水道事業　配　　水　　管　6,451メートル

令和４(2022)年度函館市水道事業会計予算（補正後）

(1)　収益的収入及び支出

収	入	支	出	備	考
	千円		千円		
水道事業収益	4,850,663	水道事業費用	4,692,469	内部留保資金（減価償却費等）	
水道事業営業収益	4,461,634	水道事業営業費用	4,282,844		1,542,535千円
温泉事業営業収益	94,432	温泉事業営業費用	70,954		
売電事業営業収益	54,741	売電事業営業費用	24,600		
営業外収益	239,856	営業外費用	306,071		
		予備費	8,000		
		差引	158,194		

当年度純損益　　11,044千円

(2)　資本的収入及び支出

収	入	支	出	備	考
	千円		千円		
資本的収入	1,411,662	資本的支出	3,116,770	資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額 1,705,108千円は,	
企業債	1,219,200	建設改良費	1,920,969		
他会計負担金	75,073	企業債償還金	1,195,801	当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額	147,150千円
工事補償金	117,389			過年度分損益勘定留保資金	776,767千円
				当年度分損益勘定留保資金	781,191千円
				で補てんするものとする。	
差引	△1,705,108				

当年度財源過不足額　△　　4,379千円
累積財源過不足額　　3,203,053千円

【公共下水道事業会計】
(1) 補　正　事　項

事　　項		補正額	備　　考	
収入	他会計負担金	千円 236	一般会計負担金（収益的収入）の減 一般会計負担金（資本的収入）の増	△ 726千円 962千円
	企業債	△ 40,400	管渠事業費企業債の増 ポンプ場事業費企業債の減 処理場事業費企業債の減	97,800千円 △ 111,500千円 △ 26,700千円
	国庫補助金	286,884	管渠事業費交付金の増 ポンプ場事業費交付金の増 処理場事業費交付金の増	162,769千円 107,643千円 16,472千円
	工事補償金	△ 1,770	工事補償金の減	△ 1,770千円
	計	244,950		
支出	給与費	△ 37,996	給与改定による増減分 職員の変動およびその他の増減分	△ 4,422千円 △ 33,574千円
	消費税及び地方消費税納付税額	2,243	消費税及び地方消費税納付税額の増	2,243千円
	雑支出	△ 1	その他雑支出の減	△ 1千円
	建設改良費	260,965	管渠事業費の増 ポンプ場事業費の減 処理場事業費の減	270,438千円 △ 779千円 △ 8,694千円
	計	225,211		

(2) 収益的収入及び支出
収　　入

科　　目	既決額	補正額	計	備　　考
下水道事業収益	千円 8,022,570	千円 △ 726	千円 8,021,844	
営業収益	5,741,560	△ 726	5,740,834	一般会計負担金を補正

支　　出

科　　目	既決額	補正額	計	備　　考
下水道事業費用	千円 6,788,014	千円 △ 23,433	千円 6,764,581	
営業費用	6,099,503	△ 25,675	6,073,828	給料，手当等，賞与引当金繰入額，法定福利費，法定福利費引当金繰入額および退職給付費を補正
営業外費用	680,511	2,242	682,753	納付税額およびその他雑支出を補正

当年度純損益　1,136,541千円

(3) 資本的収入及び支出

収　　入

科　　目	既決額	補正額	計	備　　考
	千円	千円	千円	
資本的収入	3,739,680	245,676	3,985,356	
企業債	2,410,900	△ 40,400	2,370,500	企業債を補正
国庫補助金	396,200	286,884	683,084	国庫補助金を補正
他会計負担金	867,139	962	868,101	一般会計負担金を補正
工事補償金	53,306	△ 1,770	51,536	工事補償金を補正

支　　出

科　　目	既決額	補正額	計	備　　考
	千円	千円	千円	
資本的支出	6,415,560	248,644	6,664,204	
建設改良費	2,150,359	248,644	2,399,003	管渠事業費，ポンプ場事業費および処理場事業費を補正

資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額2,678,848千円は，当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額120,722千円，当年度分損益勘定留保資金1,384,702千円及び繰越利益剰余金処分額1,173,424千円で補てんするものとする。

当年度財源過不足額　△　36,883千円

累積財源過不足額　2,127,793千円

(4) 企　　業　　債

補　　正　　前	補　　正　　後
限　度　額　2,410,900千円	限　度　額　2,370,500千円

(5) 業務の予定量

主要な建設改良事業

補　　正　　前	補　　正　　後
管渠事業　　下水管渠　3,696メートル	管渠事業　　下水管渠　3,418メートル

令和４(2022)年度函館市公共下水道事業会計予算（補正後）

(1)　収益的収入及び支出

収入		支出		備考
	千円		千円	
下水道事業収益	8,021,844	下水道事業費用	6,764,581	内部留保資金（減価償却費等）
営業収益	5,740,834	営業費用	6,073,828	1,384,702千円
営業外収益	2,281,010	営業外費用	682,753	
		予備費	8,000	
		差引	1,257,263	

当年度純損益　1,136,541千円

(2)　資本的収入及び支出

収入		支出		備考
	千円		千円	
資本的収入	3,985,356	資本的支出	6,664,204	資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額 2,678,848千円は,
企業債	2,370,500	建設改良費	2,399,003	当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額
国庫補助金	683,084	企業債償還金	4,253,561	120,722千円
受益者負担金	3,788	長期貸付金	11,640	当年度分損益勘定留保資金
他会計負担金	868,101			1,384,702千円
工事補償金	51,536			繰越利益剰余金処分額
長期貸付金返還金	8,347			1,173,424千円
				で補てんするものとする。
差引	△2,678,848			

当年度財源過不足額　△　36,883千円

累積財源過不足額　2,127,793千円

【交 通 事 業 会 計】
(1) 補　正　事　項

事　　項		補 正 額	備　　考	
収入	運　輸　収　益	△　111,127千円	定期外旅客運賃の減	△ 111,127千円
	他 会 計 負 担 金	74	一般会計負担金（収益的収入）の増	74千円
	他 会 計 補 助 金	168,663	一般会計補助金（収益的収入）の増 一般会計補助金（資本的収入）の減	181,610千円 △ 12,947千円
	企　　業　　債	△　49,800	軌道改良工事費企業債の減 電車購入費企業債の減 車体改良工事費企業債の減 交通系ＩＣカードシステム整備費企業債の増	△ 28,300千円 △ 20,300千円 △ 1,500千円 300千円
	国 庫 補 助 金	△　16,025	電車購入費補助金の減 車体改良工事費補助金の皆増	△ 17,263千円 1,238千円
	計	△　8,215		
支出	給　　与　　費	△　38,606	給与改定による増減分 職員の変動およびその他の増減分	△ 5,768千円 △ 32,838千円
	固定資産除却費	△　11,263	軌道等除却費の減	△ 11,263千円
	減 価 償 却 費	△　14,812	有形固定資産減価償却費の減	△ 14,812千円
	消費税及び地方消費税納付税額	13,394	消費税及び地方消費税納付税額の増	13,394千円
	建 設 改 良 費	△　79,348	軌道改良工事費の減 電車購入費の減 車体改良工事費の減 交通系ＩＣカードシステム整備費の増	△ 28,809千円 △ 49,929千円 △ 870千円 260千円
	計	△　130,635		

(2) 収益的収入及び支出
収　　入

科　　目	既 決 額	補 正 額	計	備　　考
軌道事業収益	1,368,826千円	70,557千円	1,439,383千円	
営 業 収 益	942,373	△ 111,127	831,246	定期外旅客運賃を補正
営 業 外 収 益	426,453	181,684	608,137	一般会計負担金および一般会計補助金を補正

支　　出

科　　目	既決額	補正額	計	備　　考
	千円	千円	千円	
軌道事業費用	1,597,666	△　51,287	1,546,379	
営業費用	1,574,397	△　64,681	1,509,716	給料，手当等，賞与引当金繰入額，法定福利費，法定福利費引当金繰入額，退職給付費，固定資産除却費および減価償却費を補正
営業外費用	16,269	13,394	29,663	納付税額を補正

当年度純損益　△ 137,416千円

(3)　資本的収入及び支出

収　　入

科　　目	既決額	補正額	計	備　　考
	千円	千円	千円	
資本的収入	519,276	△　78,772	440,504	
企業債	374,400	△　49,800	324,600	企業債を補正
国庫補助金	82,786	△　16,025	66,761	国庫補助金を補正
他会計補助金	62,090	△　12,947	49,143	一般会計補助金を補正

支　　出

科　　目	既決額	補正額	計	備　　考
	千円	千円	千円	
資本的支出	695,132	△　79,348	615,784	
建設改良費	529,878	△　79,348	450,530	軌道費，車両費およびＩＣカードシステム整備費を補正

資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額175,280千円のうち164,953千円は，当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額30,420千円，過年度分損益勘定留保資金24,683千円及び当年度分損益勘定留保資金109,850千円で補てんするものとする。

当年度財源過不足額　△　35,010千円

累積財源過不足額　　0千円

(4)　企　　業　　債

補　　正　　前	補　　正　　後
限　度　額　　374,400千円	限　度　額　　324,600千円

(5) 業 務 の 予 定 量

年間総輸送人員

補　　正　　前	補　　正　　後
4,869,210人	4,267,637人

一日平均輸送人員

補　　正　　前	補　　正　　後
13,340人	11,692人

主要な建設改良事業

補　　正　　前	補　　正　　後
軌　道　改　良　　174.8メートル	軌　道　改　良　　129.5メートル

参考資料

令和４(2022)年度函館市交通事業会計予算（補正後）

(1)　収益的収入及び支出

収	入	支	出	備	考
	千円		千円		
軌道事業収益	1,439,383	軌道事業費用	1,546,379	内部留保資金（減価償却費等）	
営業収益	831,246	営業費用	1,509,716	247,266千円	
営業外収益	608,137	営業外費用	29,663		
		特別損失	4,000		
		予備費	3,000		
差引	△ 106,996				

当年度純損益　△　137,416千円

(2)　資本的収入及び支出

収	入	支	出	備	考
	千円		千円		
資本的収入	440,504	資本的支出	615,784	資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額175,280千円のうち164,953千円は,	
企業債	324,600	建設改良費	450,530		
国庫補助金	66,761	企業債償還金	165,254	当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額	30,420千円
他会計補助金	49,143			過年度分損益勘定留保資金	24,683千円
				当年度分損益勘定留保資金	109,850千円
				で補てんするものとする。	
差引	△ 175,280				

当年度財源過不足額　△　35,010千円

累積財源過不足額　0千円

2　令和５（２０２３）年度予算概要

【水 道 事 業 会 計】

(1)　業 務 の 予 定 量

ア　水 道 給 水 栓 数	128,392栓
イ　水道年間総配水量	31,768,800立方メートル
ウ　水道一日平均給水量	86,800立方メートル
エ　温 泉 一 日 供 給 量	3,611立方メートル
オ　年 間 販 売 電 力 量	1,386,172キロワット時

(2)　収益的収入及び支出

収	入	支	出	備	考
	千円		千円		
水道事業収益	4,881,267	水道事業費用	4,737,318	内部留保資金（減価償却費等）	
水道事業営業収益	4,486,068	水道事業営業費用	4,332,773		1,494,167千円
温泉事業営業収益	91,429	温泉事業営業費用	81,830		
売電事業営業収益	51,842	売電事業営業費用	26,646		
営業外収益	251,928	営業外費用	287,312		
		特別損失	757		
		予備費	8,000		
		差引	143,949		

当年度純損益　△　7,237千円

(3)　資本的収入及び支出

収	入	支	出	備	考
	千円		千円		
資本的収入	1,814,461	資本的支出	3,470,327	資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額 1,655,866千円は,	
企業債	1,152,000	建設改良費	2,353,160	当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額	151,186千円
出資金	71,867	企業債償還金	1,117,167	過年度分損益勘定留保資金	761,344千円
固定資産売却代金	421			当年度分損益勘定留保資金	743,336千円
国庫補助金	143,733			で補てんするものとする。	
他会計負担金	69,286				
工事補償金	377,154				
差引	△1,655,866				

当年度財源過不足額　△　17,750千円
累積財源過不足額　3,185,303千円

(4)　令和5(2023)年度　水道事業

ア　赤川高区浄水場等更新整備事業

工　事　名	内　容
赤川高区浄水場プラント設備更新整備等 （令和元(2019)～22(2040)年度 債務負担行為 総　額　8,344,360千円）	機械電気計装設備工事
事　業　費	35,483千円

イ　原水及び浄水施設事業

工　事　名	内　容
赤川低区浄水場整備 （令和4(2022)～5(2023)年度 継続事業 総　額　62,500千円）	配水池更新実施設計業務委託
赤川高区浄水場整備 （令和4(2022)～5(2023)年度 継続事業 総　額　51,935千円）	配水池耐震診断業務委託
旭岡浄水場整備 （令和4(2022)～5(2023)年度 継続事業 総　額　72,560千円）	配水池耐震診断業務委託
旭岡浄水場整備 （令和5(2023)～6(2024)年度 継続事業 総　額　95,985千円）	次亜注入機械電気計装設備整備工事
導水管整備	松倉川広域河川改修工事に伴う松倉系導水管移設工事ほか
その他浄水施設等整備	松倉取水場河川構造物耐震補強設計および設備更新実施設計業務委託
事　業　費	362,774千円

ウ　配水施設事業

番号	工　事　名	施　行　箇　所	管径	延長
1	大　縄　1　号	大縄町9～14	mm φ200	m 250
2	松　川　1　号	松川町17～20	φ150	160
3	松　川　2　号	松川町33	φ100	90

番号	工　事　名	施　行　箇　所	管 径	延 長
			mm	m
4	的場人見1号	的場町14 人見町4	φ600	620
5	人見広野1号	人見町4 広野町6	φ600	620
6	湯川2丁目3丁目1号	湯川町2丁目4 湯川町3丁目9	φ150	80
7	高丘1号	高丘町10～23	φ100	200
8	中道2丁目1号	中道2丁目17	φ100	100
9	鍛治1丁目1号	鍛治1丁目1～25	φ150	160
10	神山2丁目1号	神山2丁目1～9	φ150	400
11	東山1丁目1号	東山1丁目10～23	φ150	240
12	東山1丁目2号	東山1丁目23～25	φ100	110
13	東山1丁目3号	東山1丁目16～18	φ100	170
14	東山1丁目2丁目1号	東山1丁目1 東山2丁目16	φ150	380
15	石川1号	石川町450～461	φ150	450
16	石川2号	石川町461～478	φ150	440
17	桔梗1号	桔梗町396～桔梗1丁目4	φ300	220
18	亀田港1号	亀田港町25,26	φ200	220
計				4,910
	配水支管整備	富岡町2丁目61,62ほか1箇所	φ50	235
	その他配水管整備	見晴町72～上湯川町133ほか2箇所 （松倉川広域河川改修工事等に伴う補償工事）	φ800 ～φ150	219
	その他配水施設整備	予備減圧弁設置ほか		
事　業　費		（総延長　5,364m）	1,613,997千円	

エ　東部地区水道施設事業

工　事　名	内　容
恵山地区水道施設整備	大澗浄水場取水施設上屋更新実施設計業務委託
南茅部地区水道施設整備	配水管更新　φ200㎜　350ｍほか
事　業　費	78,231千円

オ　消火栓事業

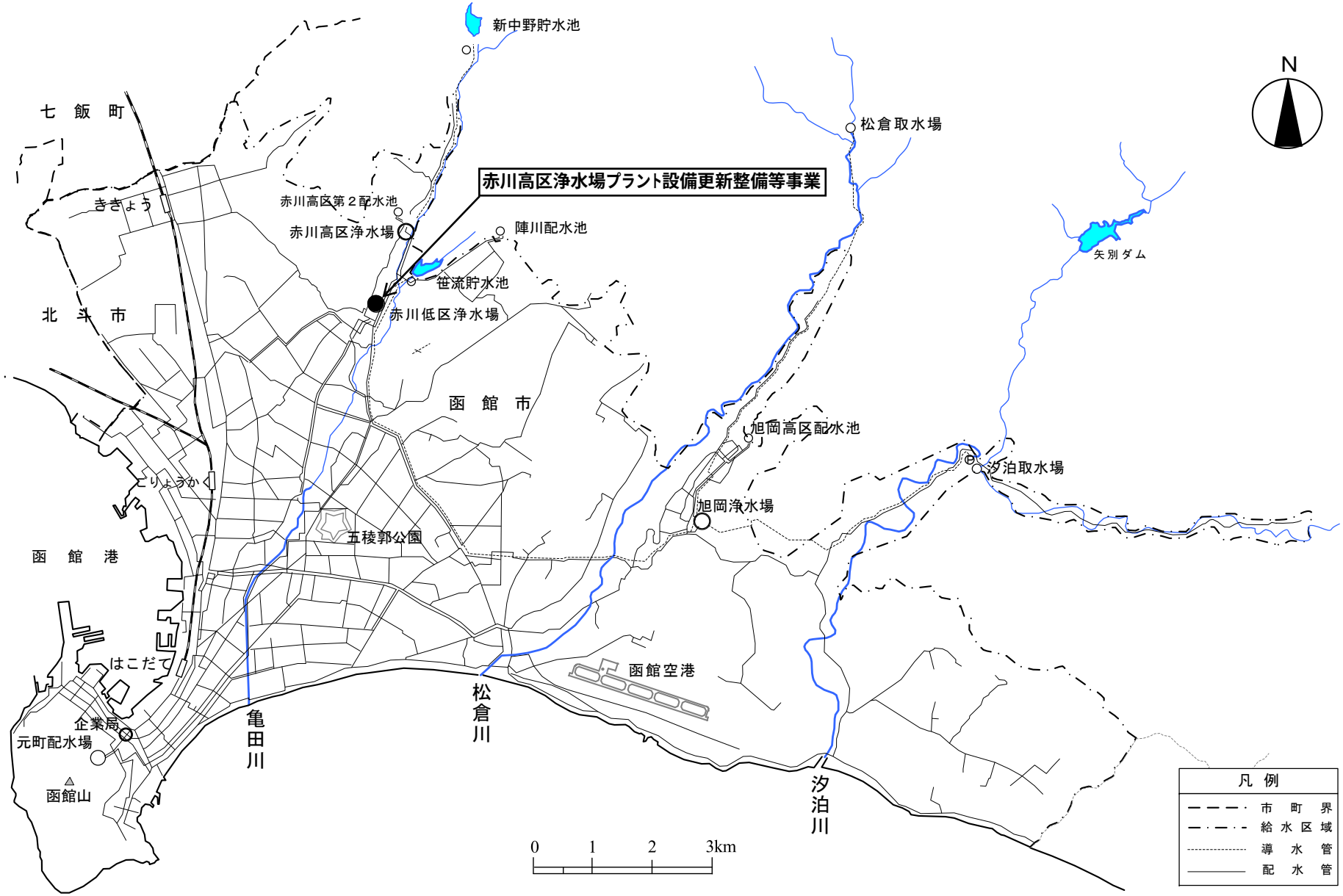
工　事　名	内　容
消火栓設置	地上式消火栓　φ150㎜　13基
事　業　費	20,751千円

(5)　令和5(2023)年度　温泉事業

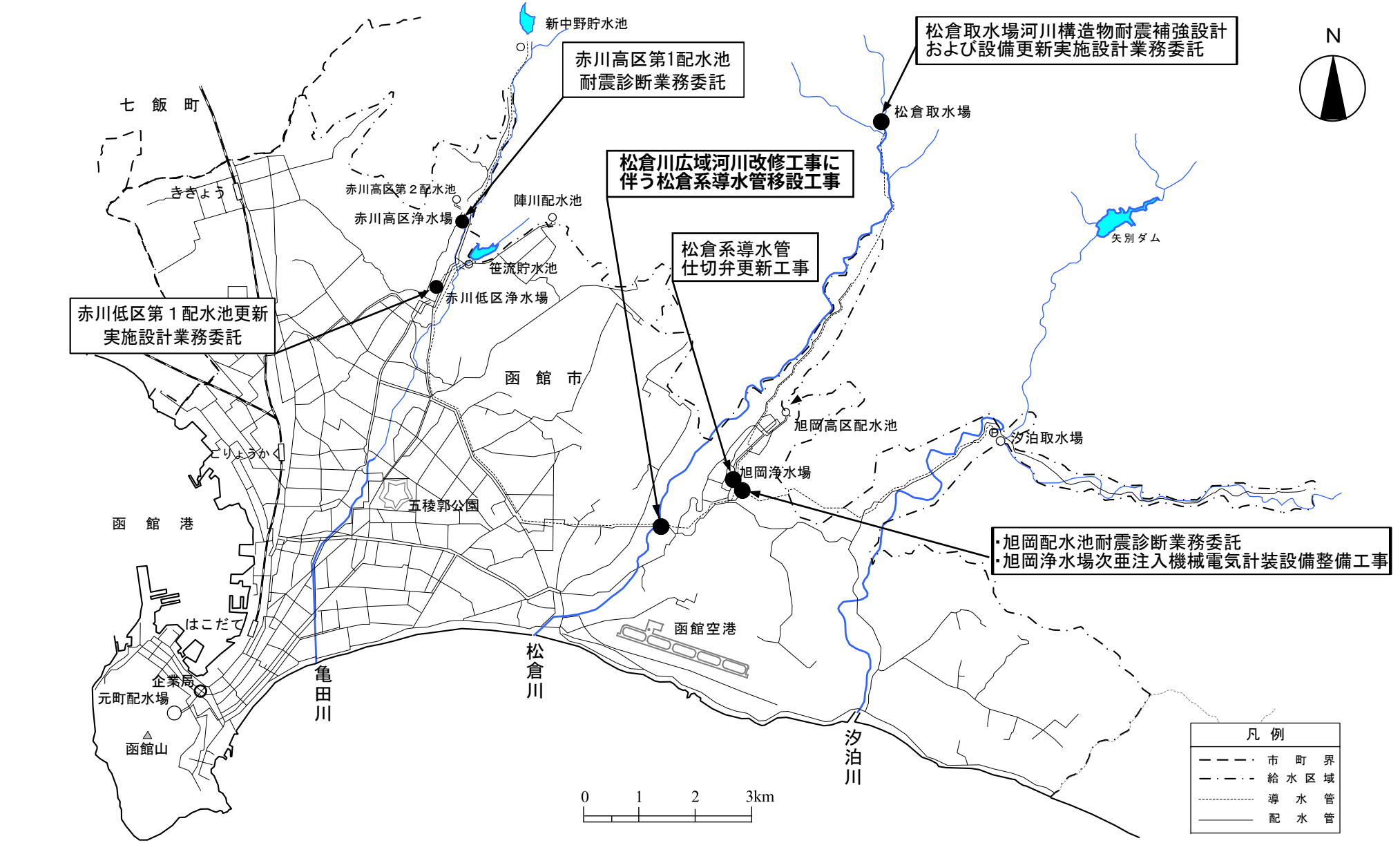
ア　温泉供給設備事業

工　事　名	内　容
温泉供給管整備	供給本管更新　φ100㎜～50㎜　790ｍ
揚湯設備整備	揚湯設備更新（湯川3丁目1号，湯川3丁目2号）
事　業　費	27,038千円

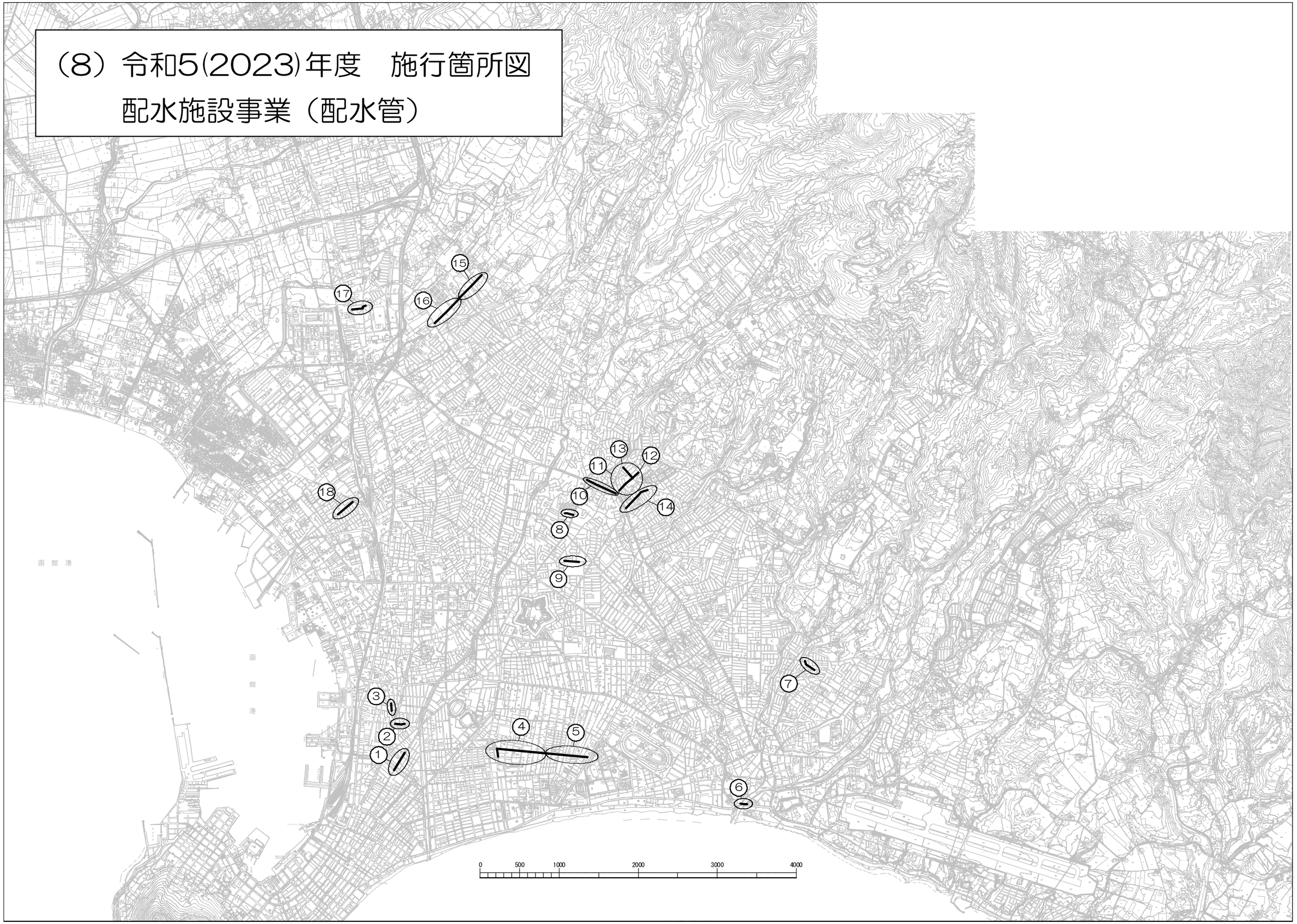
(6)令和5(2023)年度　赤川高区浄水場等更新整備事業施行箇所図



(7)令和5(2023)年度　原水及び浄水施設事業施行箇所図

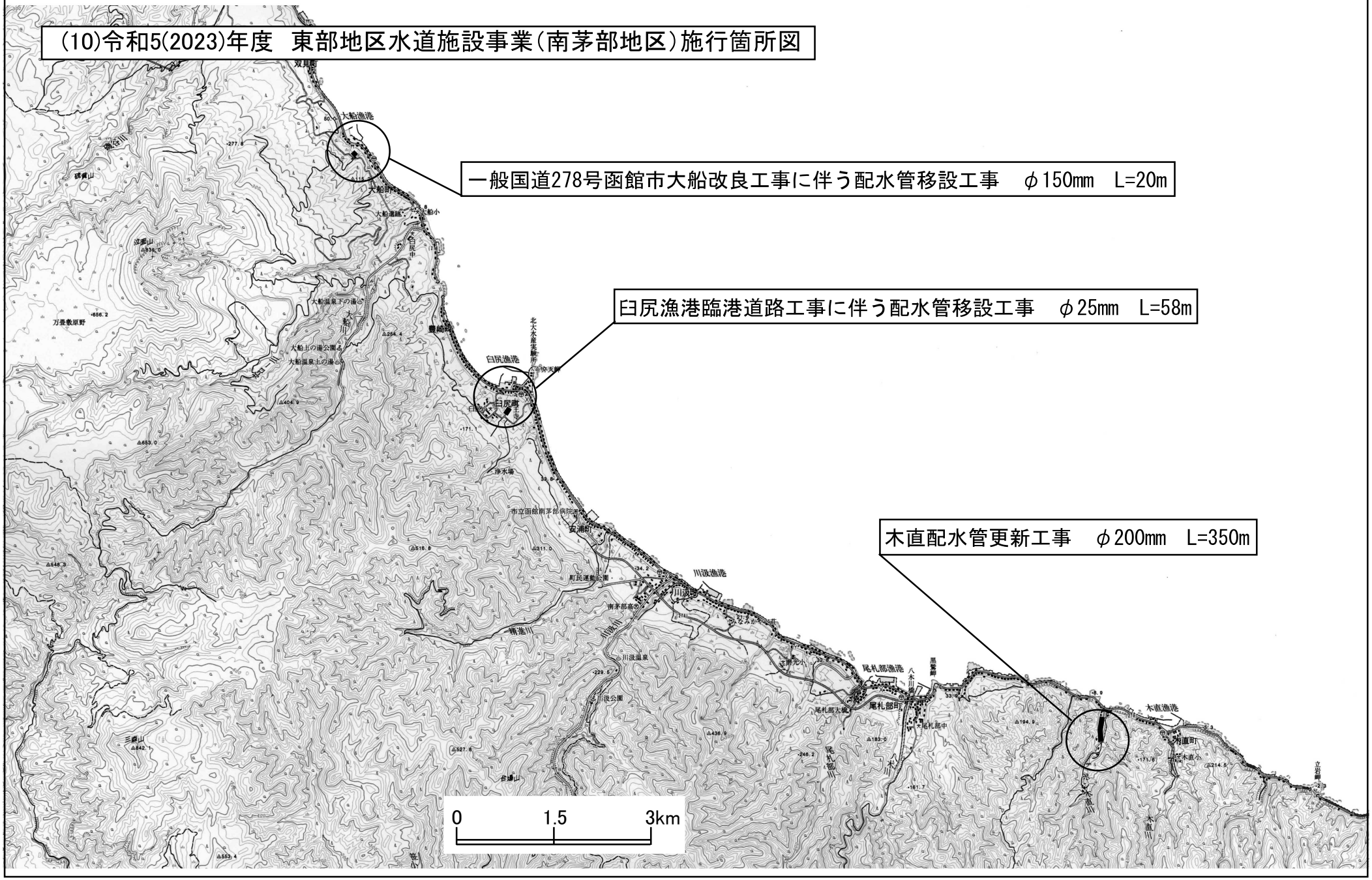


（8）令和5(2023)年度　施行箇所図
配水施設事業（配水管）

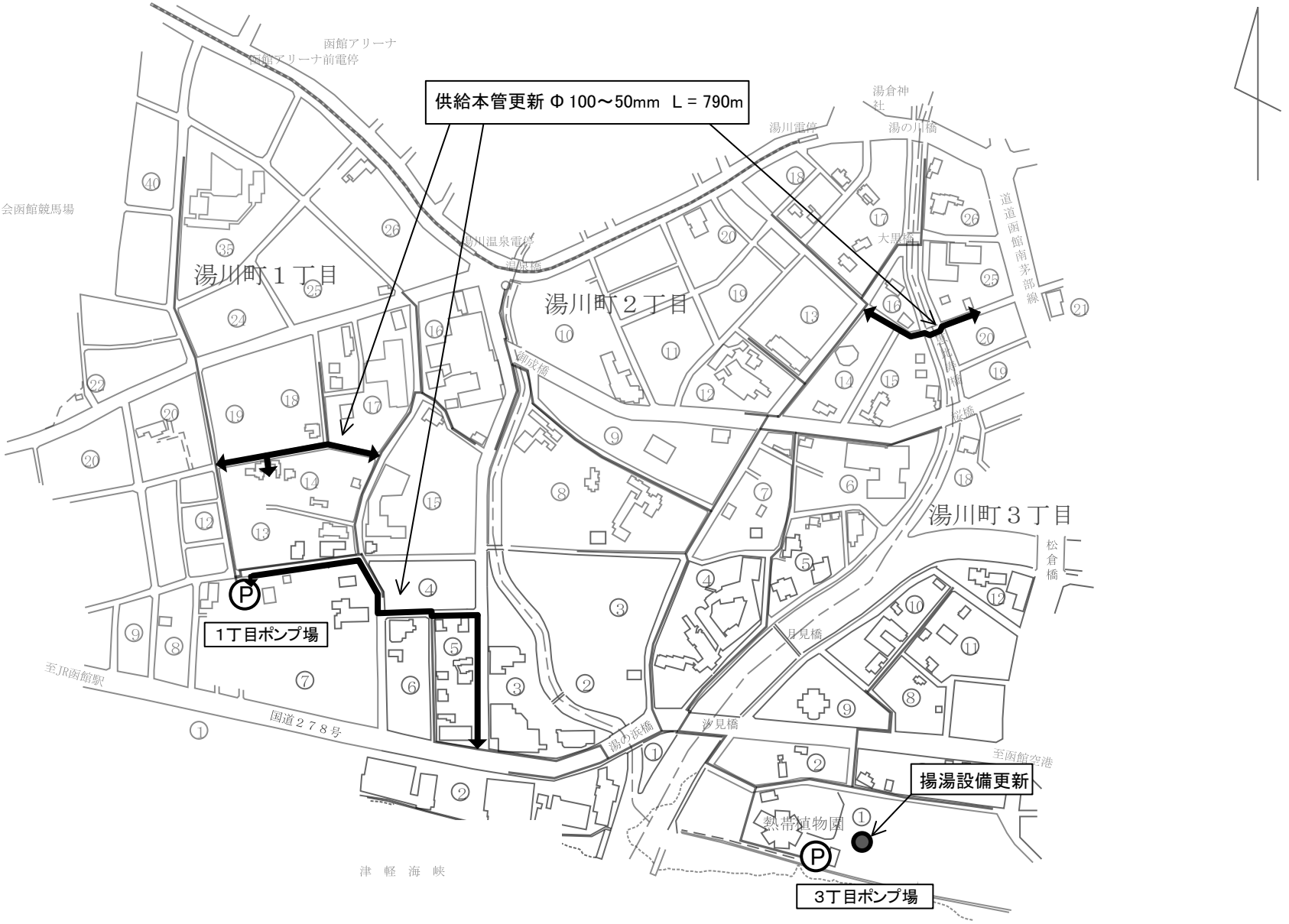


(9)令和5(2023)年度　東部地区水道施設事業（恵山地区）施行箇所図

(10)令和5(2023)年度　東部地区水道施設事業(南茅部地区)施行箇所図



(11) 令和5(2023)年度　温泉供給設備事業施行箇所図



【公共下水道事業会計】

(1) 業務の予定量

ア 排水戸数	116,259戸
イ 年間総排水量	25,546,800立方メートル
ウ 一日平均排水量	69,800立方メートル

(2) 収益的収入及び支出

収入	千円	支出	千円	備考
下水道事業収益	8,019,611	下水道事業費用	6,861,897	内部留保資金（減価償却費等）
営業収益	5,686,598	営業費用	6,244,473	1,416,446千円
営業外収益	2,333,013	営業外費用	609,423	
		特別損失	1	
		予備費	8,000	
		差引	1,157,714	

当年度純損益　1,046,622千円

(3) 資本的収入及び支出

収入	千円	支出	千円	備考
資本的収入	3,341,703	資本的支出	5,982,069	資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額2,640,366千円は，当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 111,092千円 当年度分損益勘定留保資金 1,416,446千円 繰越利益剰余金処分額 1,112,828千円 で補てんするものとする。
企業債	2,090,300	建設改良費	1,841,597	
国庫補助金	230,400	企業債償還金	4,129,292	
受益者負担金	3,450	長期貸付金	11,180	
他会計負担金	997,357			
工事補償金	11,899			
長期貸付金返還金	8,297			
差引	△2,640,366			

当年度財源過不足額　△　66,206千円

累積財源過不足額　2,061,587千円

(4)　令和5(2023)年度　管渠事業

番号	工　事　名	施　行　箇　所	管 径	延 長	備考
			㎜	m	
1	大　手　Ⅰ　地　区	豊川町24 大手町2,13 大森町27 松風町7,13 若松町18	φ450 ～φ300	587	合流
2	北部第２排水区	千歳町23,24,26,27	φ300	102	雨水
3	北部第４－２排水区	万代町22 浅野町1	φ300	46	雨水
4	北部第５排水区	万代町22 浅野町1	φ300	70	雨水
5	港第１・２排水区	港町1丁目18	φ400 ～φ300	203	雨水
6	港第３・４排水区	港町2丁目12	φ600 ～φ500	85	雨水
7	北部第７－１排水区	追分町5,8,9 大川町5,6	φ1,350 ～φ350	287	雨水
8	北部第６排水区	白鳥町15	φ300	10	雨水
9	日　乃　出　地　区	千代台町19,31 堀川町21 日乃出町3,4 時任町1～5	φ450 ～φ250	441	合流
10	宇　賀　浦　地　区	堀川町18 本町2	φ300 ～φ250	170	合流
11	金　堀　地　区	時任町18～22 松陰町10,11,16,17	φ450 ～φ350	451	合流
12	五　稜　郭　地　区	杉並町9,14,16 本町10,11 五稜郭町39 柳町6,7 松陰町9,18	φ900 ～φ250	340	合流
13	深　堀　地　区	深堀町31 湯川町1丁目32	φ500	40	合流
14	戸倉第２排水区	高丘町10,11,16～19	φ1,000	243	雨水
15	戸　倉　地　区	高丘町10,11,16,17	φ200	176	汚水
16	中　道　地　区	中道2丁目41～44,54	φ200	115	汚水
17	亀田港第１４排水区	亀田港町20～25	φ1,350 ～φ1,200	250	雨水
	舗装関連・私道設置	市内一円			

番号	工　事　名	施　行　箇　所	管 径	延 長	備考
計			mm	m 3,616	
	公　共　桝　新　設	汚水桝設置　224基			
事　業　費		（管渠延長　3,616m）		1,038,248千円	

(5)　令和5(2023)年度　ポンプ場事業

工　事　名	内　容
日吉第２ポンプ所電気計装設備	汚水ポンプ盤更新ほか
日吉第２ポンプ所機械設備	汚水ポンプ更新
榎本第１ポンプ所電気計装設備	汚水ポンプ盤更新ほか
榎本第１ポンプ所機械設備	汚水ポンプ更新
事　業　費	78,161千円

(6)　令和5(2023)年度　処理場事業

工　事　名	内　容
汚水処理施設汚水ポンプ設備	汚水ポンプ更新ほか
汚水処理施設電気計装設備	汚水ポンプ盤更新ほか
汚水処理施設反応タンク設備	反応タンク散気装置更新
事　業　費	585,575千円

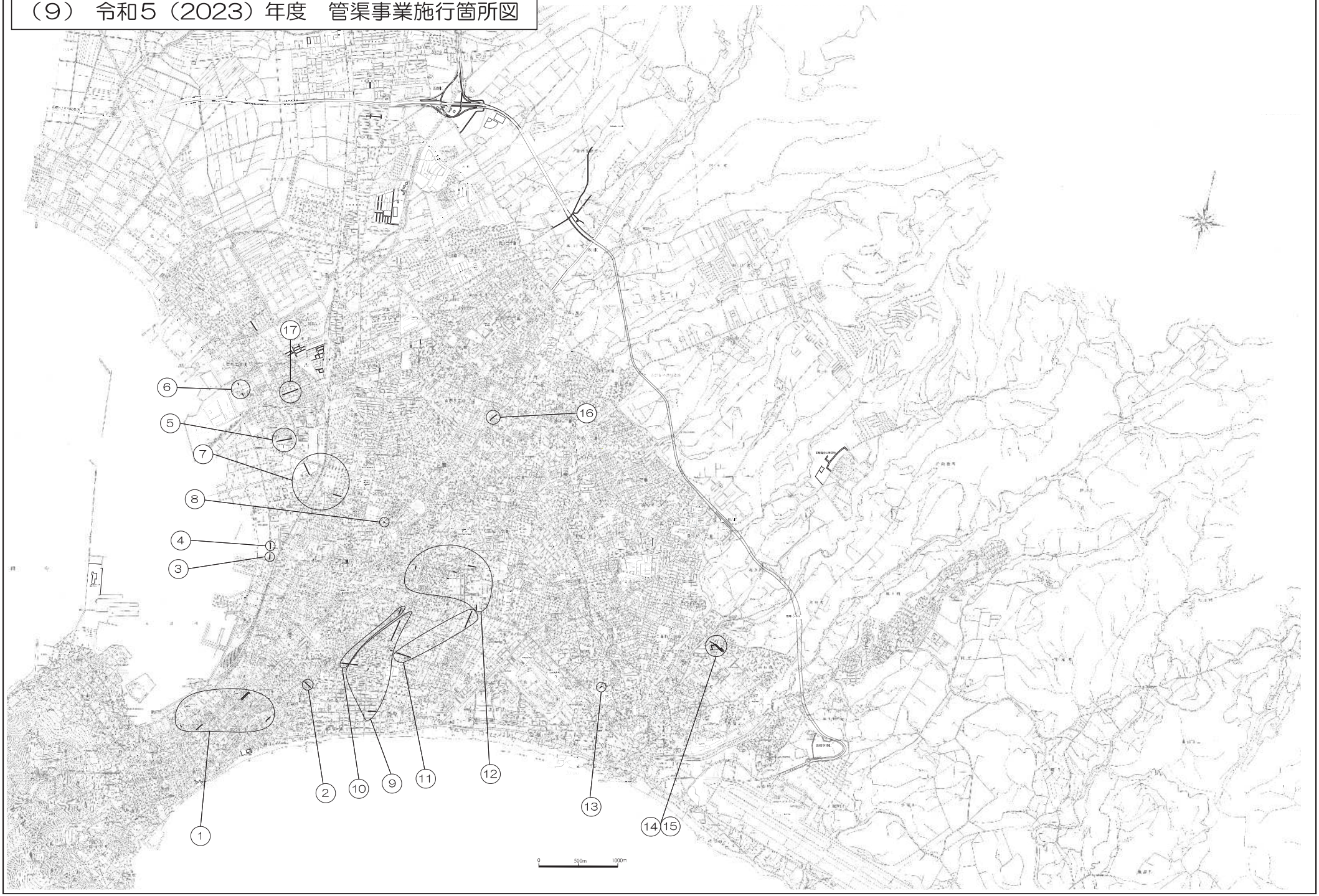
(7)　令和5(2023)年度　特定環境事業

工　事　名	内　容
公　共　桝　新　設	汚水桝設置　4基
事　業　費	1,000千円

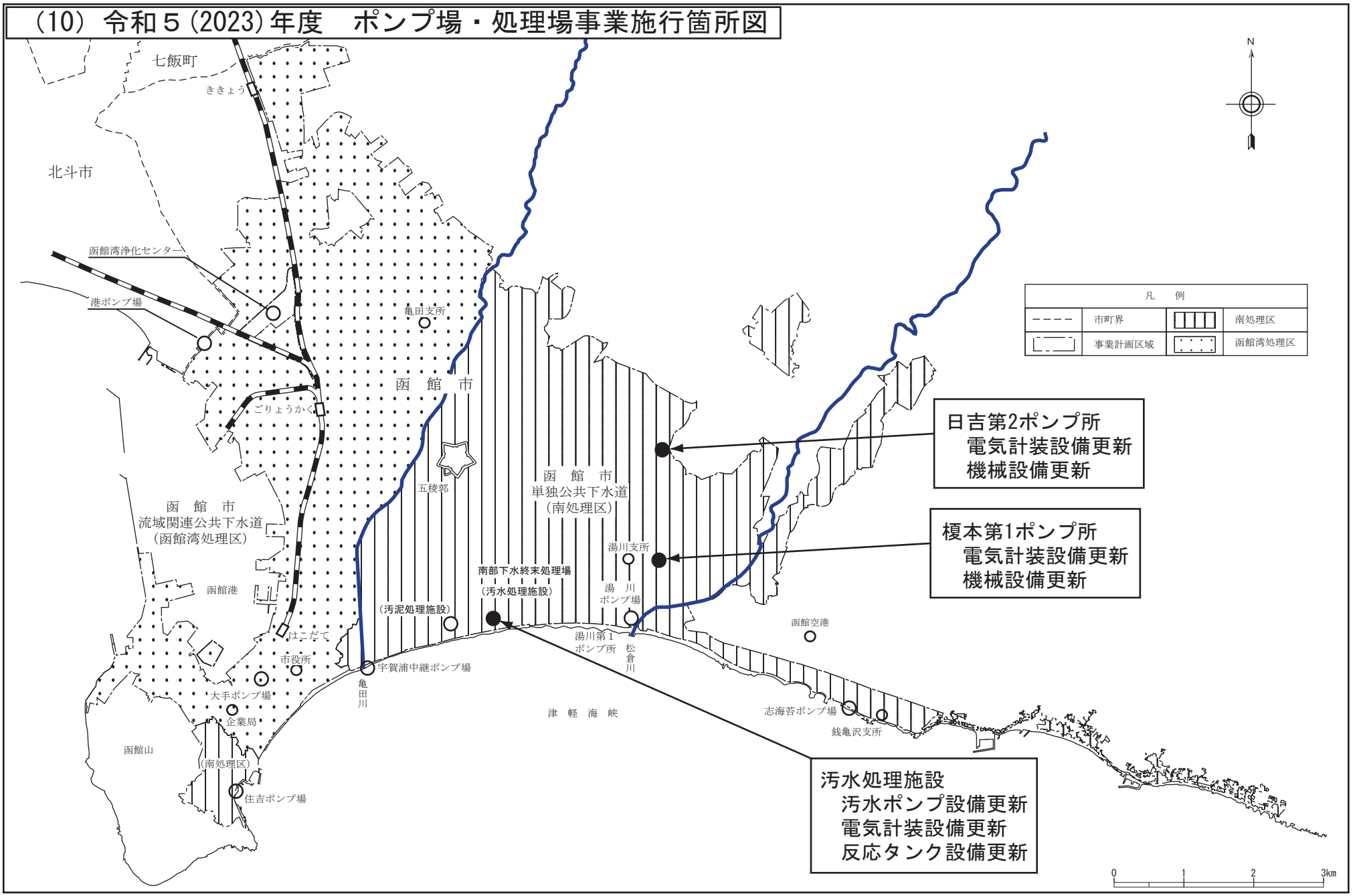
(8)　令和5(2023)年度　流域下水道事業

事　　業　　名	内　　容
函館湾流域下水道事業費負担金	事業費903,452千円のうち函館市負担分 （事業主体：北海道） 函館湾浄化センター 汚水処理施設 沈砂池・管理棟受変電設備更新工事ほか 汚泥処理施設 汚泥乾燥設備更新工事ほか
事　　業　　費	123,176千円

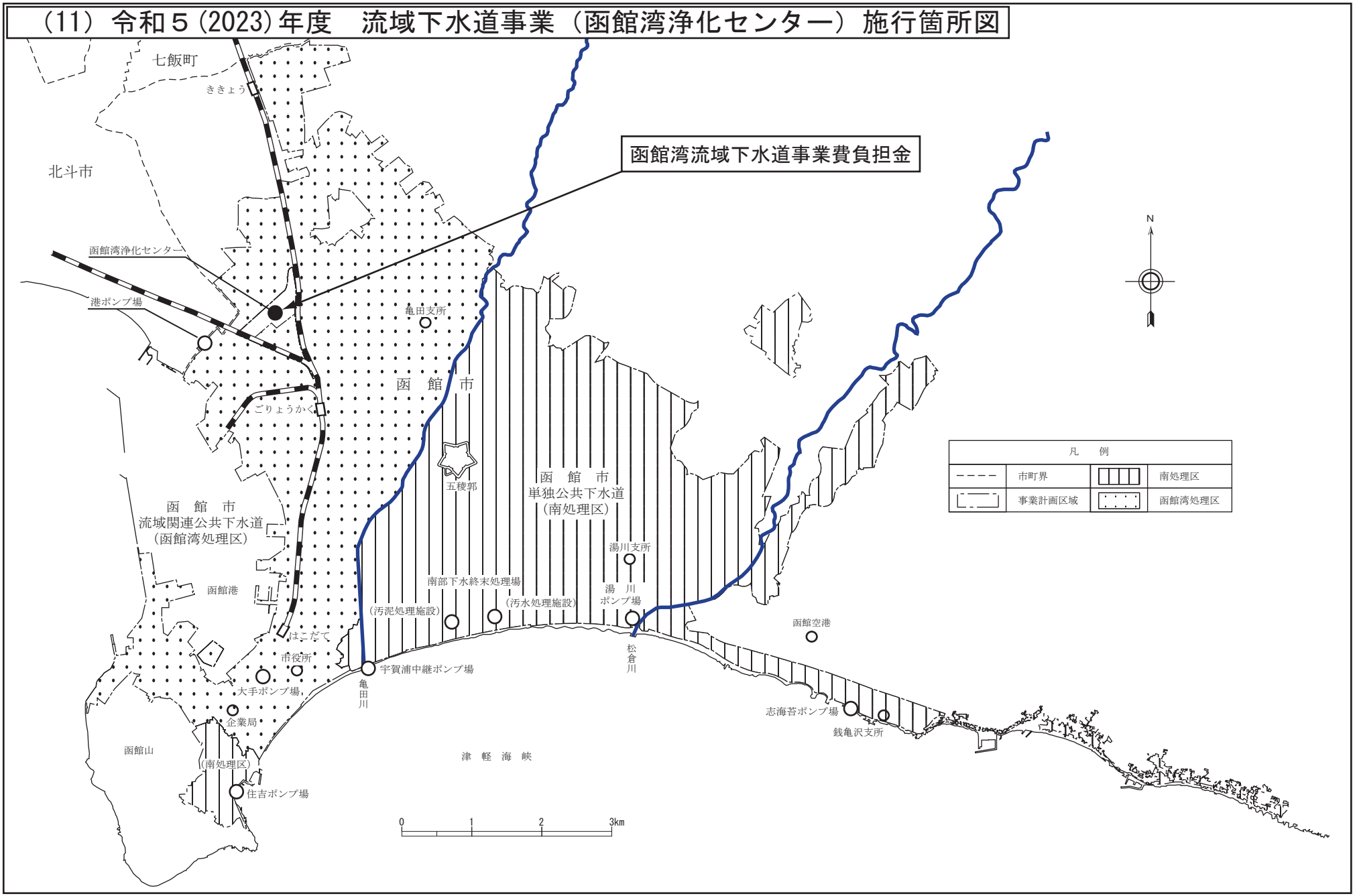
（9） 令和５（2023）年度　管渠事業施行箇所図



（10）令和５(2023)年度　ポンプ場・処理場事業施行箇所図



（11）令和５(2023)年度　流域下水道事業（函館湾浄化センター）施行箇所図



【交 通 事 業 会 計】

(1) 業 務 の 予 定 量

ア 車 両 数	32両
イ 年間走行キロメートル	933,891キロメートル
ウ 年 間 総 輸 送 人 員	4,746,370人
エ 一 日 平 均 輸 送 人 員	12,968人

(2) 収益的収入及び支出

収	入	支	出	備 考
	千円		千円	
軌道事業収益	1,341,908	軌道事業費用	1,571,593	内部留保資金（減価償却費等）
営 業 収 益	906,037	営 業 費 用	1,561,229	270,835千円
営業外収益	435,871	営業外費用	6,364	
		特 別 損 失	1,000	
		予 備 費	3,000	
差 引	△ 229,685			

当年度純損益 △ 274,852千円

(3) 資本的収入及び支出

収	入	支	出	備 考
	千円		千円	
資本的収入	548,561	資本的支出	731,237	資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額182,676千円のうち45,167千円は，当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額で補てんするものとする。
企 業 債	492,700	建設改良費	552,714	
国庫補助金	43,403	企業債償還金	178,523	
他会計補助金	12,458			
差 引	△ 182,676			

当年度財源過不足額 △ 141,526千円

累積財源過不足額 △ 141,526千円

(4)　令和5(2023)年度　軌道費

工　事　名	内　容
軌　道　改　良	十字街～魚市場通間軌道改良 45.4m 十字街渡り線更新 1式 十字街交差点改良工事詳細設計委託
事　業　費	145,629千円

(5)　令和5(2023)年度　電路費

工　事　名	内　容
電　車　架　線　改　良	函館駅前～松風町間電車線路改良 1式 十字街～函館駅前間電車線支持柱新設 1基 十字街電線共同溝建設負担金 ロケーションシステム整備委託
事　業　費	92,180千円

(6)　令和5(2023)年度　車両費

工　事　名	内　容
電　車　購　入	超低床電車購入 1両
車　体　改　良	車体改良 2両 音声合成放送設備更新委託 整理券発行機更新委託
事　業　費	311,298千円

（７）令和５(2023)年度　軌道施設建設改良事業施行箇所図

３　函館市公営企業の設置等に関する条例の一部を改正する条例の骨子

(1) 改正理由

排水区域を拡大し，および排水人口等を変更するため。

(2) 改正内容

公共下水道事業の排水区域，排水人口および１日最大処理能力に関する基本計画を改める。（第３条）

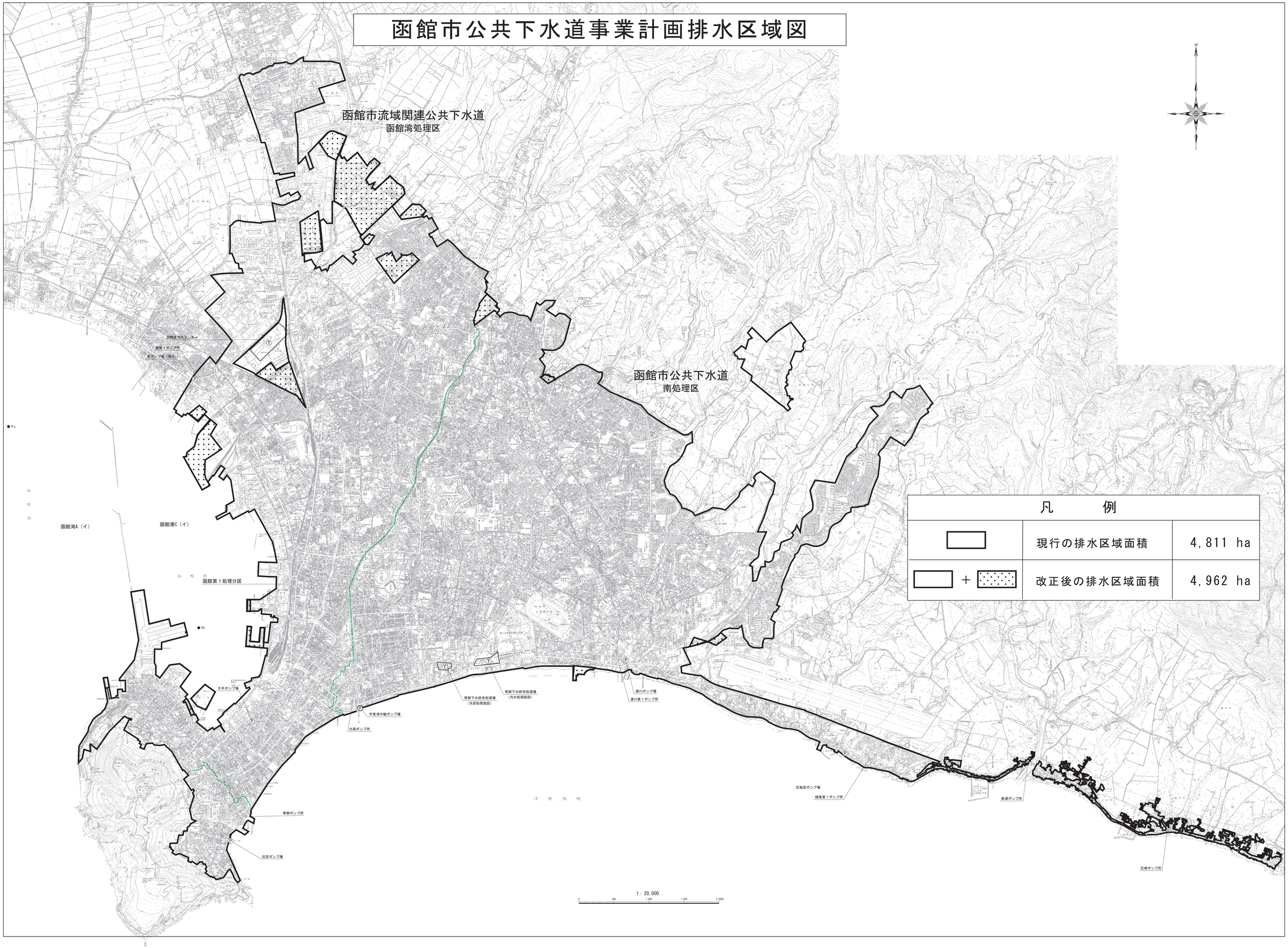
(3) 施行期日

公布の日

函館市公営企業の設置等に関する条例　新旧対照表

現　　行	改　正　案
（経営の基本） 第３条　（略） ２　公営企業ごとの基本計画は，次のとおりとする。 (1)　（略） (2)　公共下水道事業 ア　排水区域　函館市の区域の内4,811ヘクタール イ　排水人口　309,900人 ウ　１日最大処理能力　174,740立方メートル (3)・(4)　（略）	（経営の基本） 第３条　（略） ２　（略） (1)　（略） (2)　（略） ア　排水区域　函館市の区域の内4,962ヘクタール イ　排水人口　211,000人 ウ　１日最大処理能力　113,394立方メートル (3)・(4)　（略）

函館市公共下水道事業計画排水区域図



凡　　例		
	現行の排水区域面積	4,811 ha
＋	改正後の排水区域面積	4,962 ha